



一般社団法人 大分県治山林道協会 業務部 調査設計課 衛藤 毅 様にお話を伺いました。

大分県治山林道協会について：

当協会は、昭和 31 年に大分県林道協会と治山治水協会を統合し設立され、大分県内における治山事業及び森林整備事業の拡充・強化を図り、県土の保全と林業の振興に努めることで、豊かで住み良い県土づくりに寄与することを目的としています。事業は、治山分野と森林整備分野を主とする調査研究、測量や設計に加え、治山・林道事業に関する研修会の開催、工事コンクール等の開催などの公益事業と多岐にわたります。

エアロセンスとの出会い：

独自で UAV や画像解析ソフトを使い、治山や森林分野でノウハウ蓄積をしていたのですが、インターネットサイトでエアロセンスさんを見つけ、より用途に合ったツールを検討したいと思い、研修を申し込みました。また、弊社では福井コンピュータの TREND-POINT (トレンドポイント) を使用しているため、ソフトの外部連携でエアロセンスの AEROBO クラウドに連携していたこともあり、興味を持ちました。

AEROBO 研修を実施：

AEROBO (機体)、AEROBO マーカー、AEROBO クラウドのすべてが学べる 2 日間の AEROBO 研修を申し込みました。座学と実技があり、当協会だけでなく、大分県庁の林業セクションのメンバーも加わり、延べ 15 名が参加しました。空撮や解析について実践を含め、理解できるのがとても良いです。

今後について：

今後の課題として、画像解析手法のスキルアップと、施工管理などの分野にも応用していきたいと考えています。また、写真測量とともに、レーザー測量についても技術の進歩が著しいため、今後の動静を注視していきたいと思っています。

エアロセンスから大分県治山林道協会様へ：

今後も貴団体の業務の拡大に向け、引き続き弊社製品をお使いいただけるよう、精一杯サポート致します。どうぞよろしく願いいたします。



業務部 調査設計課 衛藤 毅 様